



嶺公園は、赤城山南面の美しい自然に恵まれた景勝地にあり、墓地と公園緑地部分を併せ持った計画面積 77・9 畧の公園です。

園内には、ピクニック広場、水の広場、冒険の森、湿生花園、菖蒲園、林内には遊歩道などが整備され、四季を通じて、大人から子どもまで楽しむことができます。

ローラー滑り台や木製アスレチックなどの遊具がある冒険の森は子どもたちに人気のスポット。自由に飛び回れる芝生の多目的広場。水の広場は、夏に水の滑り台など

前橋 ウォーカー ミズバシヨウが見えます。



嶺公園



ミズバシヨウ



リュウキンカ

「チューリップ」が道路から聞こえてきます。これは「メロディライン」という特殊道路舗装。ドライブのちよつとした楽しみになります。

で子どもたちが大きな歓声を上げます。

春には、ミズバシヨウ、リュウキンカ、サクラが、初夏を迎えるころには、ショウブの優雅な花が観賞できます。特に3月下旬から4月中旬は、ミズバシヨウとリュウキンカが見ごろ。1,500株のミズバシヨウが観賞できます。湿生花園を散策すると、数多くの野鳥の鳴き声やせせらぎが豊かな自然を感じさせてくれます。広場で遊ぶのも良し、自然と親しむのも良し、嶺公園を楽しんでみませんか。

最後に、嶺公園北側付近の国道353号線を車で東に向かって進むと、童謡の

下長磯町に伝わる下長磯操 翁式三番叟。この保存会の会長を務めるのが小山さん。長年にわたり地域の伝統を守ってきたことが評価され、本年度の地域伝統文化功労者の全国表彰を受けた。この表彰は地域の伝統文化の活性化に貢献した人を対象に、伝統文化活性化国民協会が表彰するもの。本年度は小山さんを含め全国で23人が選ばれた。

「急な話でびっくりしています。先祖から引き継がれてきた伝統と想いを後世に伝えていきたい一心で活動してきました」

「翁」「千歳」「三番」の3体で舞を行う操翁式三番叟。始まりは江戸時代といわれ、五穀豊穡を願って毎年4月15日に奉納される。2人で1体の人形を動かす点は全国的にも珍しく、厳粛に行われる神事芸

能として国無形民族文化財に指定されている。

「昔の人たちは式三番が無事に終わるとその1年が無事に過ごせると信じていたそうです。人々の心のよりどころだったんでしょうね」

3年前に退職し、現在は家族との時間を大切に過ごす毎日。中でも一番の楽しみは孫と遊ぶこと。5人の孫がそろうにぎやかな時間は何にも代え難い。

「これからも充実した一日一日を送っていききたいですね。お世話になったたくさんの人たちに恩返ししていきたいです」

現在、後継者探しに力を注いでいるという。これからは保存会のメンバーや地域のの人たちと、歴史ある芸能を未来につなげていってほしい。



地域伝統文化功労者で
全国表彰

小山 勝典さん 70歳
下長磯町

クローズアップ

貴重な新収蔵資料がずらり

5月8日(日)まで、前橋文学館で収蔵資料展を開催しています。萩原朔太郎の自筆詩稿「地面の底の病気の顔」など、昨年度新たに収蔵した資料を中心に展示。訪れた人は、並べられた資料を眺め、郷土の文学に触れていました。ぜひ、お出掛けください。



お茶の健康効果を学ぶ

3月11日、前橋テルサでくらしのセミナーを開催。「日本茶の楽しみ方と効能」をテーマに、日本茶の健康効果や飲み方、歴史などについて講演が行われました。参加者はさまざまな日本茶を試飲。味や香りを楽しみながら熱心に耳を傾けていました。



みんなの研究成果を展示

児童文化センターで、理科研究発表会優秀作品展を開催。市内の小中学生の研究のうち、優秀作品を入れ替えて順番に展示しています。昨年度の作品は、4月24日(日)まで展示されます。